

事業名 CD	0107010201	一般商工振興事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	まちの賑わいをつくりだす商工業の振興	
	小項目	商業の振興	
関連する個別計画等	韮崎市まちなか活性化計画	根拠条例等	商店街共同駐車場設置補助金交付要綱
関連する事業	なし		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	・にらさき文化村の運営費として施設管理維持のため
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	周辺商店街、商店街(中心市街地)利用者
これまでの改善経過	商店街共同駐車場設置は、平成6年度から借地代年間480万円であったが、平成12年度から地権者との交渉により年間440万円更に平成15年度から400万円、平成18年度から300万円となっている。償還金補助は建設から返済終了まで補助率2/3が決定されている。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 ■補助金 □その他()</p> <p>周辺商店街観栄会が設置しているにらさき文化村の管理運営に関する経費を一部負担する。</p> <p>○にらさき文化村の運営費として建設時借入金(144,289千円:無利子17年償還)の償還金を補助する。</p> <p>○周辺4商店街(銀座会・旭町勉強会・西栄会・水栄会)に対して当該駐車場使用料を補助し、用地の確保及び施設管理維持を支援する。(4商店街×30万円【5台分】=120万円)</p>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか、どのような効果を得るのか)	・にらさき文化村の運営が保証され、中心市街地におけるコミュニティ活動等の拠点が確保される。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	9,859	9,859	9,859
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	3,000	3,000	3,000
	一般財源	6,859	6,859	6,859
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.10	0.36	0.4
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	691	2,456	2,688
D	総事業費(A+C) (千円)	10,550	12,315	12,547
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	392 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	共同駐車場の設置数 補助金額	(件数) (万円)	1 120	1 120	1 120
成果指標	駐車場使用料収益 (算出式数値)	(万円)	122	149	163
効率指標	収益率	使用料/総事業費 (%)	11.57	12.09	12.99

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 中心市街地の駐車場確保策として管理団体でもある地元商店街に補助金を支出しており、ほぼ妥当であると考えられる。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 駐車場収益が上がっており商店街活性化につながっている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 駐車場収益も増加傾向にあり、買い物客が商店街を利用しやすくなっていることは確実であり、引き続き中心市街地の駐車場確保策として支援は必要。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 文化村建設時借入金償還期限は平成 23 年度。	(2) 24 年度 平成 23 年度に検討した事業計画により方向性を定める。 小林一三を核とするまちづくりの検討	(3) 23 年度 文化村の平成 24 年度以降の施設活用方法について事前に検討する。
	22 年度の改善計画		
22 年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 商業力による活性化ではなく、地域サービス力による新しい振興策が求められる。駐車場の全面月極め化等の要望や提案の明確化。			
課長所見	文化村の適正な運営及び周辺商店街の駐車場が確保できた。		